

		評価
<b>1 保育理念・保育観</b>		
1	園の保育理念・保育方針・全体的な計画を全職員に周知している	A
2	園の保育方針を基にした全体的な計画が作られている	A
3	定期的に保育方針や保育観を確認できるような機会を作っている	A
4	全体的な計画を基に、行事や園外保育を計画している	A
<ul style="list-style-type: none"> <li>* 新年度に向けた会議の中で、法人の理念・方針を初め、園の運営方針・園目標・保育目標・ねらいを読み合わせている</li> <li>* 聖母福祉会の目指す保育園の理念を確認し合い、カトリック園が大切にしていることなどを確認している</li> <li>* モンテッソーリの保育理念を基に、人的環境・物的環境を整え、自立・自律に向けて援助していくことを大切にしている</li> <li>* モンテッソーリ教育の特徴としての縦割り活動を実施し、様々な人間関係の中で互いに成長していくことを見守っている</li> <li>* 法人で作成した園独自のキャリアパスを、それぞれの職位で分かち合い、コンピテンシー・職務内容・必要な研修などを職務を遂行しているかどうかを確認し合っている</li> </ul>		
<b>2 保育計画・保育実践と振り返り</b>		
1	全体的な計画を基に、各歳児ごとの目標を立案し、計画的に保育を行っている	A
2	子ども発達を理解し、見通しを持った保育を工夫している	A
3	配慮を必要とする子への対応は職員間で共通意識を持ちその子に応じた対応をしている	A
4	保育の振り返りを定期的に行い、今後に活かせるようにする	A
<ul style="list-style-type: none"> <li>* 全体的な計画を基に、各歳児ごと保育のねらい・内容を明確にしている</li> <li>* 一年間の子どもの育ちである年間指導計画・各月ごとのカリキュラムを作成し、実践していると共に、一日の活動の流れを確認し見直しを行っている</li> <li>* 宗教計画における年間計画を作成し、外部より講師を招き年長児に向けて聖話として行っている また、0・1歳児向けにも小さなお祈りの日を設けて神様の話をする機会を設けている 神父様からも子ども達に神様のお話しをして頂き、職員にも講話としてお話しをして頂いている</li> <li>* モンテッソーリの保育理念の充実を図る為、その理論を学び、保育内容を深めている</li> <li>* 配慮の必要な子どもへの対応について担任だけに任せず、職員全体で内容を共有し、現状を把握し支援している また、専門機関につなげていくことで、連携を取りながら広い視野を持って保育している</li> </ul>		
<b>3 環境・安全</b>		
1	一人ひとりが安心して過ごせる環境を保証している	B
2	園の方針を基にした環境構成が整えられている	B
3	職員一人ひとりが健康・安全に対する認識を共有している	B
4	職員が危機管理意識を常に持ち、緊急時に対応できるようにしている	B
<ul style="list-style-type: none"> <li>* 子どもが安全に過ごすために、毎月安全点検を行い、各部会の中で報告し、改善が必要な場合は、直ちに実施する</li> <li>* ヒヤリハット・事故については朝礼・終礼で報告し、回覧し全員に周知、改善が必要な事案は特に話し合う場を設けている</li> <li>* 熱性けいれん・てんかんの子どもへの対応についても学び、発作が起きたときの職員の対応も周知している</li> <li>* 年に1回危機管理などのマニュアルを各自で読み込み、特に重要なことや予防策などは職員会議で意見を出し合い確認をしている</li> <li>* 保育士の不注意でかみつきが見られ、しっかりと子どもを視ることに欠けていた</li> <li>* 感染症等については市からの情報を職員室に伝え、さらに掲示し、情報を共有し集団の中での留意すべき点などについて学んでいる</li> <li>* 日々の健康観察カードには同居家族の体調も記入して頂き、37.5以上の発熱や咳を伴う風邪症状がある場合には登園を自粛して頂くなど管理を徹底した</li> <li>* 園児及び職員に於ける新型コロナウイルス感染症感染防止対応方針を打ち出し、症状別に対応を明確にした</li> <li>* 夏の水遊びについては新型コロナウイルス感染症の観点から水中の塩素濃度を測定し、一日の入水を1クラスとし安全対策を行った。 また、常にどの場所も基準値を満たすように管理した。</li> <li>* 熱中症の観点から暑さ指数を測定しWBGTが30を超えた場合は戸外遊びは中止とし子どもの安全を考えた</li> </ul>		

4 職員構成・研修		
1	職員の責務を明確にし、連携しながら円滑に保育が進められるようにする	B
2	園内・外研修の年計画を立て、実行している	A
3	保育士以外の職員も研修に参加し、自己研鑽に努める	A
<ul style="list-style-type: none"> <li>* 年度当初の会議の中で、コンピテンシーについて自らの職務を確認し合い、業務分担・行事係について確認している</li> <li>* 法人内新採・中堅・リーダー・歳児別・事務研修を初めとし、外部研修にも進んで参加し自己研鑽に努める</li> <li>* キャリアアップ研修は三年目以上の職員は1教科以上研修に参加できるようにし、自己研鑽に努めた</li> <li>* 他にも、園長会・主任会などに参加し、情報交換を行っている</li> <li>* モンテッソーリの本の読み合わせをし、同じ方向性をもち保育が行われるように事例を出し合い保育の質を高めようとした</li> <li>* 毎月の乳児部会・幼児部会・リーダー会・ケース会議では特にコロナ禍において、感染症にも気を付けながら、子どもの育ちも共に考えて行く行事の持ち方について話し合うことに努めた</li> </ul>		
5 食育		
1	職員が食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている	A
2	栄養士・保育士が連携し、食育を積極的に進めている	A
3	食材の安全に配慮したうえで、様々な食材を味わえるようにしている	A
4	離乳食やアレルギー除去食など特別食に配慮している	A
<ul style="list-style-type: none"> <li>* 毎日季節を感じさせる献立を作り、色彩の良い食事を提供している。行事食においても子ども達の喜ぶ盛方を工夫している</li> <li>* 栄養士と保育士が共に食育活動に取り組み子ども達の食に対する関心を深めることができている</li> <li>* 離乳食や除去食は一人ひとりに合わせた献立を作成し、心のこもった給食の提供に努めている また、アレルギー児への誤食を防ぐため調理員と保育士が確認を怠らず声を掛け合いながら提供している</li> <li>* 毎月の給食部会では子どもの食べ具合について各歳児より報告を受け、献立に活かしている</li> <li>* 毎月の給食だよりで、人気メニューについてレシピを掲載しているが、好評でありアンケートを見ても保護者の食育や給食への関心は高いと思うので続けていきたい</li> </ul>		
6 保護者支援・子育て支援		
1	保護者に対し、園の保育内容や子どもの姿が分かるような発言をしている	B
2	保護者の状況、個人情報の漏えいに気を付けている	A
3	保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感するように心掛けている	B
4	地域で子育てをしている親子に配慮し、園児との交流を積極的に進めている	C
<ul style="list-style-type: none"> <li>* 子どもの園での様子は、写真にコメントを入れて掲示板に掲載している</li> <li>* 毎月のホームページでも日々の活動等をコメント共に掲載している。</li> <li>* 個人情報については入園時に説明する他、職員にも周知徹底している</li> <li>* 温かい人間味のある保育園、保護者の方と信頼関係の築ける園、保護者の方が安心して預けることの出来る園を目指して努力している</li> <li>* 新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為、保育参加など行えなかったが、今年度は動画配信などの取り組み始めた</li> </ul>		
7 小学校や地域社会との連携		
1	定期的に地域の保育園や幼稚園・小学校との交流を行っている	B
2	町内会や、地域との交流を積極的に行っている	C
3	ボランティアや実習生を受け入れる意義を理解し、受け入れる体制がある	A
<ul style="list-style-type: none"> <li>* 近隣の小学生との交流については、小学1年生の授業に参加させていただき交流の場を持つことができた。</li> <li>* 散歩で近くの公園に出かけたり、買い物でスーパーに行ったりして地域の方の協力を得られることもあるが、もう少し積極的に取り組みたい</li> <li>* 多くの方に保育園という施設を理解して頂くために職場体験・実習生受け入れも進んで実施している</li> <li>* 近隣の老人介護施設訪問は新型コロナウイルスなど感染症拡大防止の為、中止した</li> </ul>		